

### 教育委員会施政方針

倉部俊治 教育長



平成26年度の教育行政の基本方針を「個性を尊重し、互いに学びあう生涯学習の実現」とし、次の三つの施策を展開していきます。

#### 市民が生涯にわたって生き生きくらすための学習体制の充実

#### 生涯学習機会の充実

市民のニーズの高い社会や地域の課題などに対応した学習事業を実施し、市民の自主的な学習活動を支援します。

湖北地区公民館、鳥の博物館や図書館布佐分館で利用者の安全・快適性を維持するため、各種施設設備の

改善に取り組みます。  
\*生涯学習推進計画実施計画(後期)に基づき、引き続き生涯学習関連事業の充実を図っていきます。  
\*学習に関する情報収集・提供や相談体制の充実を図るとともに、生涯学習団体との連携を強化し市民の学習活動を支援する体制を整備していきます。

スポーツの振興  
\*スポーツ推進委員と共に、地域スポーツフェスタや総合型地域スポーツクラブの支援を行います。  
\*安全・快適にスポーツが出来るよう計画的に体育施設の維持補修を行っていきます。

子どもの創造性と自主性をはぐくむ教育の充実  
\*児童・生徒の声を敏感に聞き取ることのできる学校体制づくり、不祥事撲滅に向けての校内研修の充実、

\*学力向上を図るため、わかりやすく、きめ細かで丁寧な指導をしていきます。  
また、全国学力学習状況調査などの結果を分析し、実態把握をした上で各学校の状況に応じた具体的方策を講じていきます。  
\*学校施設の耐震化を全て完了させ、中学校への空調設備設置の設計を行うなど学習環境の改善を図っていきます。  
\*小・中学校の放射能対策に引き続き取り組みます。  
\*児童・生徒の安全確保について、教職員・保護者・地域住民・関係機関が一体となって取り組めるよう連携を一層密にしていきます。  
\*学校評価システムにより教育活動などの成果を検証することで、信頼される学校づくりに一層努めます。  
\*児童・生徒の声を敏感に聞き取ることのできる学校体制づくり、不祥事撲滅に向けての校内研修の充実、

風通しが良く何でも言い合える教職員集団づくりに努めます。  
\*市内中学校においては校務支援システムを導入・構築し基礎的な研修を行います。  
\*我孫子市小中一貫教育基本方針に基づき、9年間をつなぐカリキュラム策定を行います。

地域に根ざした教育の充実  
\*地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することによって、「教員の子どもと向き合う時間の増加」および「地域の教育力の活性化」を図ります。  
\*「いじめ」の防止および早期発見・解決を図るために、「我孫子市いじめアンケート」を継続して実施するとともに、「Q-U検査」を実施します。  
\*「我孫子市いじめ防止対策基本方針」の策定と「(仮称)我孫子市いじめ防止対策」を実施します。

文化芸術活動への支援と地域文化の継承  
\*市内でさまざまな文化芸術活動をされている方々と共に、文化芸術の振興を進めていきます。  
\*「めるへん文庫」事業を学校と連携し推進していきます。  
\*古くから市内に伝わる伝統芸能の継承者を育成・継承していくため郷土芸能祭を12月に開催します。  
歴史的・文化的遺産の保存・活用  
\*旧井上家住宅は基本設計を基に建物ごとの実設計を行い工事内容を決定していきます。

文化芸術活動への支援と地域文化の継承  
\*市内でさまざまな文化芸術活動をされている方々と共に、文化芸術の振興を進めていきます。  
\*「めるへん文庫」事業を学校と連携し推進していきます。  
\*古くから市内に伝わる伝統芸能の継承者を育成・継承していくため郷土芸能祭を12月に開催します。  
歴史的・文化的遺産の保存・活用  
\*旧井上家住宅は基本設計を基に建物ごとの実設計を行い工事内容を決定していきます。

緊急給水・復旧体制の整備など  
\*市内全小中学校の受水槽に設置した応急給水栓と配管した応急給水袋について、災害等緊急時における使用の実効性を高めるため、地域住民や関係機関と連携し使用方法の講習会や訓練などをを行います。  
\*災害応急復旧用仮設配管資材の賃借契約を継続し、災害や事故等の対応能力の維持に努めます。

浄水場施設の耐震化および設備の更新  
\*湖北浄水場配水池耐震補強工事を引き続き実施します。  
\*経年劣化が進んでいる湖北浄水場の活性炭ろ過機排水弁交換工事と高度浄水処理施設遠方監視制御設備更新工事を行います。

### 水道事業経営方針

峯岸幹男 水道局長



平成26年度は、料金系および浄水場系の包括業務委託について、運用の在り方などについて見直しを行います。一方、より機能的な執行体制を構築するため、局内の業務分担や人員配置などを見直すとともに、組織を担う人材育成に向けた取り組みも進めていきます。

#### 安全な水の供給

\*水質基準の改正に併せ、新基準に対応した適切な水質検査を実施し、安全な水の供給に努めます。  
\*連続自動水質監視装置により残塩、濁りなどを常時監視するほか、濁り水を防止するための洗管作業などを継続して行います。  
\*高度浄水処理施設の機能を適切に維持するため、湖北浄水場のオゾン接触槽およびろ過原水ポンプ井の浚渫清掃、活性炭ろ過機の保守点検などを実施します。

#### 配水管の拡張整備と管路の耐震化

\*道路整備に伴う延伸や、井戸水の水質悪化により、水道への切り換えが必要など地区に配水管を約1260メートル布設します。  
\*管路の耐震化については、更新時期を迎えている老朽

#### 浄水場施設の耐震化および設備の更新

配水管約3450メートルについて耐震性に優れた管へ布設替えを行います。  
\*主要基幹管路については、約760メートルについて布設替えを行います。

#### 緊急給水・復旧体制の整備など

\*市内全小中学校の受水槽に設置した応急給水栓と配管した応急給水袋について、災害等緊急時における使用の実効性を高めるため、地域住民や関係機関と連携し使用方法の講習会や訓練などをを行います。  
\*災害応急復旧用仮設配管資材の賃借契約を継続し、災害や事故等の対応能力の維持に努めます。

#### 経営基盤の強化

\*浄水場設備の運転および維持管理業務と料金系の包括委託業務の委託期間満了に伴う委託先の選定に併せ、委託内容の拡大に向けた検討を行い、民間的経営手法の導入を一層進めます。

#### 北千葉広域水道企業団の主な事業

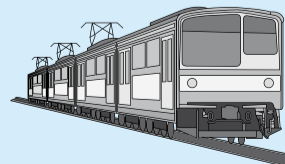
\*高度浄水処理施設建設事業は、本年12月の通水開始に向け工事が進められています。

## デイタイムの常磐線(各駅停車)の本数が増えました

JR東日本では、平成26年3月15日からダイヤ改正を行い、常磐線各駅停車(我孫子~綾瀨間)の運行本数を、休日を含むすべてのデイタイム(午前10時~午後3時台)で毎時1往復増発しました。これにより、運転間隔が12分から10分となり、電車の待ち時間が短縮されました。

市では、今後も常磐線・成田線の利便性の向上に向けて、積極的に取り組んでいきます。

☎ 企画課 ☎ 7185-1426



## あなたの塀は大丈夫ですか？改善にご協力を

過去の大地震時に宅地内のコンクリートブロック塀や大谷石塀などが倒壊し、道路をふさいだり、通行者への被害が報道されています。

市では、安全なまちづくりの一環として、通学路沿いの危険な塀や建築基準法などの基準に適合しない塀の改善を目指しており、建築確認申請時に塀の基準や道路幅員の確保を指導するとともに、適宜パトロールを通じ調査・指導も行っていきます。

補強コンクリートブロック造の塀(通称コンクリートブロック塀)は、鉄筋コンクリートの基礎が必要で、塀内部の縦横に鉄筋が必要で、塀の高さが1.2mを超える場合は、控壁(支え)が必要になり、基礎の丈・深さなどの基準が厳しくなります。大谷石などの石塀は、高さの上限が1.2mであり、厚さにより控壁が必要です。  
震災時の塀の倒壊を防ぐためには、所有者の自己管理が基本です。危険な塀は改善をお願いします。市でも専門業者紹介やリフォーム補助の制度がありますので活用ください。

☎ 建築住宅課・内線528



▲鉄筋や控壁(支え)がなく歩道へ倒壊した塀